

2011年春闘本番 旺盛に団体交渉始まる!

京都生協労組 3月21日(月) 42人参加 一時金上積みに含み!

42人の参加でおこないました。冒頭鎌野委員長は、「震災支援と春闘どちらも頑張ることが復興にもつながる」とあいさつ。年末一時金は経営環境の悪化を理由に削ったが、10年度着地は予算を大幅に上回る剰余を確保した。労働者に還元せよ! コープしがでは1000円のベア、せめて若年層だけでもベア回答を! と迫りましたが、理事会は震災の影響もあり予測がつかないとして再検討はできないとしました。

但し、予算を上回った剰余については「賞与引当金に積むことを検討する」として一時金上積みに余地があることを示唆しました。京都生協労組では、春闘の継続交渉を確認しています。



阪大労組、正規春闘団交 3月23日 8人参加 新学期を全力で! 5月に再交渉

阪大労組は3月23日(水)午後8時より、正規春闘団交を行いました。

団交には、理事会から原専務はじめ4人、阪大労組から矢野委員長はじめ7人が参加しました。関西地連から米田副委員長が支援参加しました。

団交は、理事会より2010年度決算内容として、総供給高48億7,587万円(予算比98.1%・前年比102.1%) 事業剰余 1,861万円(確定)をもとに回答主旨説明がおこなわれました。

続いて、質疑応答と交渉が進みましたが回答は動かず。29日のパート団交と4月新学期の状況を経て、改めて5月に団交を申し入れる旨確認して終了しました。

おおさかパルコープ労組 3月28日 99人参加 前向きに回答を検討する!

労働組合では、震災が発生しても一時金についてはセパともに前年実績回答を示したこと この間の要求であった嘱託職員の正規登用をおこなったこと 理事会してTPP参加反対を決議し労組要求にも応えたことなどを評価しました。しかし、今春闘の最大の争点は時給労働者の賃金底上げであることを強調し、大阪府の最低賃金ギリギリであること指摘しました。大阪府の最賃が引き上げられてからではなく春闘でベア回答すべき、震災があったが長い目で見れば最賃は引き上げられて行く流れに変わりはないとして、労使で中期的な視野に立ち改善の方向性を論議する必要があるとして時間給労働者(パート、再雇用、アルバイト)のベアを強く要求しました。



現場から15人が発言し書記長のまとめの後、高野常務から「今日の交渉は理事会として一旦受け止め、前向きに回答を検討する」との答弁を受けて交渉を一旦打ち切りました。

回答遅延の暴挙に怒りの抗議文 ならセパ労組

以下、ならセパ労組抗議文の概要

「指定日に回答すべき」との労働組合の指摘にもかかわらず、6日も遅れての回答は誠に遺憾。コープきんき内の各生協も震災支援をおこなっているが他生協は前年実績を維持した夏季一時金をも含めた回答を期日通りに出している。回答が遅れたにもかかわらず一時金回答が示されていない。回答指定日に回答を出すことは労使間の最低限度のルールであり、信頼関係の根本だ。回答遅延は重大な問題だと理事会は認識すべき。として夏季一時金の回答を早急に出すように要請しました。